

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度(平成31年度)	科目名	プロジェクトワーク7
科目基礎情報				
開設学科	マンガ・アニメーション科四年制	コース名	アニメーションコース	開設期 後期
対象年次	4年次	科目区分	必修	時間数 90時間
単位数	3単位	授業形態	実習	
教科書/教材	参考書・参考資料等は授業中に指示する			
担当教員情報				
担当教員	山口 杏奈・平岡 栄一	実務経験の有無・職種	有・アニメーター(山口)、映像編集(平岡)	
学習目的				
<p>前期授業での技術や知識の習得を踏まえ、4年間の修学の集大成として卒業制作作品を制作する。各専攻ごとに専門分野の制作物を完成させ、統合・合成したアニメーション映像を卒業制作展や学外イベントで公開・上映を行う。制作の過程を通して各専門分野の技術をより高めることができる他、教員・講師の指導を受けながら制作グループ内やクラスメイト間のコミュニケーションを醸成することから、異なる考えや視点を得ながら共同作業を行うことで社会人基礎力を養うことができる。</p>				
到達目標				
<p>卒業制作を完成させる工程を通して昨年度の制作の反省や改善点を考慮しながら、制作グループ内での役割分担や仕事の配分を制作スケジュールや内容に落とし込み4年間の修学の集大成となる作品作りをすることで自らの技術をより伸ばすことを目標とする。特定の仕事や制作ツール、または課題点をテーマに研究発表ができることも4年次の目標である。</p> <p>また完成した作品を様々な場所や機会を通して公開・上映し視聴者からの評価を受ける中で自らの制作特性や特徴をつかみ、他社の視点を取り入れより感性豊かな表現を学ぶことも目指す。</p>				
教育方法等				
授業概要	卒業制作の実制作において作画・背景・仕上撮影・制作管理を中心とした専門分野別に分かれて各グループもしくは個人別に指導する。提出締め切りを守り2年間の修学の集大成となるクオリティを求める。作画専攻においては締め切りを守るだけでなくタイムシートの記入やレイアウトのカメラワークその他の申し送り事項が正確に記入できることを目標とする。背景専攻はパースや光源の方向を意識して背景作画ができること、デジタル専攻においては素早く正確に共同作業を行ってほしい。			
注意点	制作の打ち合わせ等で声を発する場合は周囲の学生への配慮を忘れないこと。長時間の打ち合わせは教員に申請の上別教室を使用することもできる。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。			
評価方法	種別	割合	備 考	
	試験・課題	50%	課題を総合的に評価する	
	小テスト	0%		
	レポート	0%		
	成果発表 (口頭・実技)	30%	授業時間内に行われる中間チェック、内容について評価する	
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する	
作画・背景専攻 授業計画(1回～15回)				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	オリエンテーション、ワークフロー	卒業制作をすすめるにあたってレイアウト・原画作業、ワークフローを把握する		
2回	卒業制作 作画打ち合わせについて	作画打ち合わせからコミュニケーション、すり合わせの方法をつかむ		
3回	卒業制作(応用絵コンテ・レイアウト1)	絵コンテから演出意図、構図をつかみレイアウトにおこす		
4回	卒業制作(応用絵コンテ・レイアウト2)	絵コンテの修正や、疑問点を解決する方法を学びレイアウト修正作業ができる		
5回	卒業制作(応用レイアウト・原画)	レイアウトを制作し演出チェックから不足部分を把握できる		
6回	卒業制作中間チェック1(作画スケジュール)	スケジュールから現状の進捗を把握し、予定を立て直す		
7回	卒業制作(応用レイアウト・原画・動画1)	レイアウト制作、原画制作、動画制作からタイムシートの記入方法を復習する		
8回	卒業制作(応用レイアウト・原画・動画2)	レイアウト制作、原画制作、動画制作から運動とパースの表現方法をつかむ		
9回	卒業制作(応用レイアウト・原画・動画3)	レイアウト制作、原画制作、動画制作から運動と演技の表現方法をつかむ		
10回	卒業制作 動画チェック作業	動画チェック作業から修正点を見つけ、制作グループのメンバーで共有できる		
11回	卒業制作中間チェック2(ラッシュチェック)	レイアウト・原画・動画の進捗チェックとプレビューから修正点と今後の予定を確認し修正する		
12回	卒業制作(応用レイアウト・原画・動画4)	レイアウト制作、原画制作、動画制作から質感の表現方法を学ぶ		
13回	卒業制作(応用レイアウト・原画・動画5)	原画制作、動画制作、動画制作から光と影の表現法を学ぶ		
14回	卒業制作リテイク(原画・動画)	作画箇所の不足部分や修正点を直して仕上撮影部署とも連携作業できる		
15回	完パケ上映、まとめ	完成プレビューを行い講評から今後の課題を見つける		

デジタル専攻 授業計画（1回～15回）		
回	授業内容	各回の到達目標
1回	オリエンテーション、ワークフロー	卒業制作をすすめるにあたってデジタル作業のワークフローを把握する
2回	卒業制作 色彩・撮影打ち合わせについて	色彩・撮影打ち合わせからコミュニケーション、すり合わせの方法をつかむ
3回	卒業制作(カメラテスト)	絵コンテから演出意図、構図をつかみカメラテストを行う
4回	卒業制作(エフェクトテスト)	絵コンテから演出意図を組みエフェクトテストを行う
5回	卒業制作(レイアウト・撮影指示)	レイアウトから撮影指示を把握し演出意図をつかみ不足部分を把握できる
6回	卒業制作中間チェック1(作画スケジュール)	スケジュールから現状の進捗を把握し、予定を立て直す
7回	卒業制作(応用スキャン・仕上・撮影1)	スキャン、仕上、撮影から色指定・色彩設計の方法を復習する
8回	卒業制作(応用スキャン・仕上・撮影2)	スキャン、仕上、撮影からカメラワークの技法を復習する
9回	卒業制作(応用スキャン・仕上・撮影3)	スキャン、仕上、撮影から撮影処理の技法を復習する
10回	卒業制作 仕上検査チェック作業	仕上検査からセル仕上の修正点を見つけ、制作グループのメンバーで共有できる
11回	卒業制作中間チェック2(ラッシュチェック)	色指定・レイアウト撮・原撮等のプレビューから修正点と今後の予定を確認し修正する
12回	卒業制作(仕上・撮影・編集4)	スキャン、仕上、撮影、編集作業を行い一本化する
13回	卒業制作(仕上・撮影・編集・音響5)	スキャン、仕上、撮影、編集作業、音響編集を行い一本化し映像として書き出す
14回	卒業制作リテイク(仕上・撮影・編集・音響)	デジタル作業箇所の不足部分や修正点を直して作画背景部署とも連携して作業完了できる
15回	完パケ上映、まとめ	完成プレビューを行い講評から今後の課題を見つける

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	プロジェクトワーク7	
開設学科	マンガ・アニメーション科四年制	コース名	キャラクターデザインコース		開設期	後期
対象年次	4年次	科目区分	必修		時間数	90時間
単位数	3単位	授業形態	実習・実技			
教科書/教材	USBメモリ					
担当教員情報						
担当教員	坂上 雅也		実務経験の有無・職種	有・イラストレーター		
学習目的						
<p>今まで学んできたデザイン・レイアウトを含むデザイン制作の技術と知識や感性の成果を作品にし、クリエイターとしての姿勢を持って卒業制作展で展示発表するものも制作する。また、プレゼン力を身に付けることがねらいである。</p>						
到達目標						
<p>制作意図(コンセプト)・ターゲット層などが明確にわかるものを制作し、自己満足にならないように気をつける、グループ制作の場合はそれぞれの割り振りを均等にし、作品を完成させることが目標である。</p>						
教育方法等						
授業概要	就職に備えた知識やスキルアップを目指した制作を行う。					
注意点	企画に沿った制作。企画から大幅に外れたり、変更がある場合はその都度報告すること。提出締め切り日は守る事。大切なことは一番最初に話すので、理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。					
評価方法	種別	割合	備 考			
	試験・課題	60%	課題を総合的に評価する			
	小テスト	0%				
	レポート	0%				
	成果発表 (口頭・実技)	30%	授業時間内に行われる課題内容について評価する			
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
授業計画（1回～15回）						
回	授業内容	各回の到達目標				
1回	卒業制作企画プレゼン審査	PowerPointを使用してチームごとに企画発表プレゼン				
2回	卒業制作	卒業制作を行う				
3回	不合格の場合再プレゼン	卒業制作を行う				
4回	卒業制作	卒業制作を行う				
5回	卒業制作	卒業制作を行う				
6回	卒業制作	卒業制作を行う				
7回	卒業制作	卒業制作を行う				
8回	卒業制作	卒業制作を行う				
9回	卒業制作	卒業制作を行う				
10回	卒業制作	進捗状況プレゼン準備				
11回	卒業制作作品プレゼン審査	進捗をPowerPointを使用してチームごとに企画発表プレゼン				
12回	卒業制作	卒業制作ブラッシュアップ				
13回	卒業制作	展示物を制作する				
14回	卒業制作	展示物を制作する				
15回	制作物提出・講評	卒業制作展示講評会				

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度(平成31年度)	科目名	プロジェクトワーク7	
科目基礎情報					
開設学科	マンガ・アニメーション科四年制	コース名	マンガコース	開設期	後期
対象年次	4年次	科目区分	必修	時間数	90時間
単位数	3単位	授業形態	実習		
教科書/教材	参考書・参考資料等は、授業中に指示する				
担当教員情報					
担当教員	緒山 千	実務経験の有無・職種	有・イラストレーター		
学習目的					
これまで学んだ内容や制作した作品のブラッシュアップを実施しポートフォリオの完成度を高めることを目標とする。前期で培った画力や表現力、構成力や思考力を元に、今まで制作した作品をより高いクオリティへと昇華させ、ポートフォリオの内容をより高いものとする。					
到達目標					
過去の作品をブラッシュアップし、作品の完成度をより高いレベルへと向上させる、また業界への情報収集やリサーチを積極的にを行い、自分のポートフォリオにおいて足りていない内容の作品を新たに制作する。これらを行うことでポートフォリオの内容をより高いものとし、就職活動だけでなく起業やフリーランスを目指す上でより有利に進められるようにすることを目標とする。					
教育方法等					
授業概要	ポートフォリオを見直すことで、これまでに制作した作品のブラッシュアップや自身に足りていない内容の作品を制作し、ポートフォリオをより高いクオリティへと昇華させる。また振り返りを行うことで各自の将来目指している仕事やジャンルを再度自己分析する。また、この授業は前期のプロジェクトワーク5と連動する。				
注意点	ポートフォリオを制作するために、これまで制作した作品もクオリティアップを図り入れていくこと。教員や講師にアドバイスをもらい、積極的に更新を図ること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。授業開始後10分以内に着席していない場合は遅刻とする。				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験・課題	50%	ポートフォリオの進捗報告を課題とし、それを評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	50%	遅刻・欠席は減点とする。		
授業計画(1回～15回)					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	グループディスカッション	ディスカッションを行い、より良くするための意見を取得。今後の作業目標を持つ。			
2回	ポートフォリオ制作(14)	1～4P修正点を洗い出し ブラッシュアップ作業			
3回	ポートフォリオ 15	1～4P修正点を洗い出し ブラッシュアップ作業			
4回	ポートフォリオ 16	1～4P修正点を洗い出し ブラッシュアップ作業			
5回	ポートフォリオ 17	5～8P修正点を洗い出し ブラッシュアップ作業			
6回	ポートフォリオ 18	5～8P修正点を洗い出し ブラッシュアップ作業			
7回	ポートフォリオ 19	5～8P修正点を洗い出し ブラッシュアップ作業			
8回	ポートフォリオ 20	9～16P修正点を洗い出し ブラッシュアップ作業			
9回	ポートフォリオ 21	9～16P修正点を洗い出し ブラッシュアップ作業			
10回	ポートフォリオ 22	9～16P修正点を洗い出し ブラッシュアップ作業			
11回	ポートフォリオ 23	17～20P修正点を洗い出し ブラッシュアップ作業			
12回	ポートフォリオ 24	17～20P修正点を洗い出し ブラッシュアップ作業			
13回	ポートフォリオ 25	17～20P修正点を洗い出し ブラッシュアップ作業			
14回	ポートフォリオ 26	全ページ分の見直し ポートフォリオを完成させる			
15回	講評会	講師からの評価、全員での個別評価を行う			